

平成 30 年度 認知症地域支援推進員 活動報告書 (豊中市)

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

「豊中オレンジフェア」の開催

日にち：9/19 (水)～9/21 (金) の3日間

場所：市役所第2庁舎ロビーにて

来場者：156人 (3日間合計)

内容：下記 (1)～(3) の通り



(1) パネル展示

≪認知症疾患医療センター≫ センターの紹介	≪歯科医師会≫ 歯科と認知症の関連性
≪薬剤師会≫ 薬局で認知症の方の服薬相談ができます	≪豊中市老人介護者(家族)の会≫ 会の活動紹介
≪豊中市事業者連絡会≫ 団体の活動紹介、第16回いきいき長寿フェアの案内	≪とよなかオレンジチーム≫ チームの活動について
≪市立豊中病院≫ 院内活動(認知症チーム)	≪豊中訪問看護ステーション連絡会≫ 訪問看護ステーションのサービスのご案内
≪豊中市保健所≫ メンタルヘルス計画	≪高齢者支援課≫ 高齢者みまもりあいステッカー(ミモカ)
地域包括支援センターの紹介	≪豊中市キャラバン・メイト連絡会≫ 認知症の方への対応、介護者の気持ちの理解
≪認知症地域支援推進員≫ 認知症カフェ紹介	≪認知症支援部会≫ 会の活動紹介、認知症とは、経過とケアの流れ

(2) 認知症相談

≪協力≫ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センター、
豊中市老人介護者(家族)の会、豊中市事業者連絡会、市立豊中病院、
相談者：16人(3日間)

(3) ミニ講座

≪医師会≫ かかりつけ医からのメッセージ	≪歯科医師会≫ 歯の本数と認知症
≪薬剤師会≫ 認知症に伴う医薬品の整理について	≪老人介護者(家族)の会≫ 認知症尊厳 SONG 合唱
≪市立豊中病院≫ 物忘れ予防検診、専門医に学ぼう「これって認知症？」	≪豊中オレンジチーム≫ 〔寸劇〕認知症の対応について
≪高齢者支援課≫ 認知症予防に挑戦「やってみよう!コグニサイズ」	

豊中市キャラバン・メイト連絡会

豊中市キャラバン・メイト連絡会・企画部会の一員として、未活動のメイトさんの活躍の場作り、認知症啓発イベント(雨天の為当日中止)、認知症サポーター養成講座に取り組んだ。

Ⅱ 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

虹ねっと連絡会認知症支援部会及び認知症連携担当者会議（実務担当者会議）の開催

認知症支援部会は、医療従事者と介護従事者の連携強化を多職種協働で進行するため設置されている「虹ねっと連絡会」において、特に認知症支援について中・長期的な視点から、支援体制の構築や支援方策の充実に向けて、医療・介護分野が連携し、継続的・包括的に取り組むことを目的としている。虹ねっと連絡会 認知症支援部会規約に定める構成組織・団体に参画いただき、事業目的や内容を協議の上、本事業を推進した。

虹ねっと連絡会 認知症支援部会

開催日	内 容	参加人数
6月7日	はじめに 虹ねっと連絡会 認知症支援部会について 1.平成29年度事業報告 2.平成30年度事業計画 3.市庁舎ロビー展について 4.認知症対応マニュアルについて	23人
8月31日	1.豊中オレンジフェア（市庁舎ロビー展） 2.認知症講演会 3.認知症対応マニュアルについて	24人
3月1日 （予定）		

認知症医療・福祉連携おたすけマップ

前年度に改訂、増刷したものについて関係機関への配架を依頼し、研修会等を通じて広く普及啓発を行った。

Ⅲ 若年性認知症の人やその家族への支援

若年認知症本人・家族の集い「ももの会」

若年認知症の場合、就労・子供への影響・社会参加の場が少ないなど、高齢者とは異なった課題がある。認知症に良いといわれているコーヒーの香りを本人自身が、豆から挽いて楽しむ“ももカフェ”を開いて交流。家族は、日頃抱える悩みや不安を少しでも解消し、またほっとできるひと時を過ごせる場を構築した。

開催日	内 容 等	参加人数
4月17日	公園散策（体操・ボールゲーム）・家族交流・ももカフェ・	本人4名・家族4名・サポーター8名
8月21日	ももカフェ（RUNTOMO、オレンジフェアの案内）・体操・家族交流	本人1名・家族3名・サポーター8名
10月16日	ももカフェ（支援者研修・施設見学の案内）・歌・体操・家族交流	本人3名・家族4名・サポーター8名
12月18日	ももカフェ・卓球・体操・家族交流	本人4名・家族6名・サポーター6名
2月19日 （予定）	ももカフェ・卓球・ゲーム・体操・家族交流	

*6月は大阪北部地震のために中止した

IV 認知症の人の介護者への支援

認知症高齢者家族教室への支援及び交流会への参加

隔月で行われている認知症高齢者家族教室において、取扱いテーマについて協議し、関係機関と役割分担の上講師の手配等を行った。また、隔月で行われている交流会について参加し、ご家族の悩みを聞くとともに社会資源についての情報提供を行った（年2回）。

「徘徊 SOS メール」一斉模擬訓練

11月9日（金）16時～17時で市内7圏域で一斉に行われた訓練に、所属包括のある圏域で参加した。徘徊者役の男性に声をかけて下さった市民について、アンケートを配り、徘徊 SOS メールの普及に努めた。

VI 会議や研修等の実施及び参画

認知症講演会

豊中精神保健福祉協議会50周年記念行事、
認知症疾患医療センター事業研修会と合わせて開催

日時：12月2日（日）13:30～16:40

場所：豊中市立文化芸術センター大ホール

テーマ：「現代人感覚がとらえる認知症予防」

講師：朝田 隆 氏

医療法人社団創知会メモリークリニックお茶の水 理事長

東京医科歯科大学脳統合機能研究センター 認知症研究部門 特任教授

来場者：252人



見える事例検討会

支援困難事例の解決に向けて集まった多職種が意見を交わしやすくする手法として、状況と解決の糸口が「見える化」するマインドマップというツールを用い、認知症事例の検討会を開催した。多職種が集まることで新たな視点が発見でき、事例提供者だけではなく参加者のスキルアップとなった。

開催日	事例テーマ	参加人数
5月31日	金銭的な不安から必要なサービスを拒んでしまう夫婦の今後について	24名
7月18日	自分勝手に人との関わりを壊していく男性高齢者の支援	19名
11月29日	認知症の妻の介護で夫が体調を崩した夫婦の支援	20名
1月31日 (予定)		24名